EPSON
EXCEED YOUR VISION

SC-F6350

操作ガイド

本書は、基本の操作とメンテナンスの方法を
説明しています。

CMP0175-00 JA
© 2019 Seiko Epson Corporation. All rights reserved.

商標

「EPSON」、「EPSON EXCEED YOUR VISION」、「EXCEED YOUR VISION」は、セイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Mac、macOS、Bonjour および ColorSync は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

YouTube および YouTube ロゴは、米国 YouTube 社（YouTube,LLC）の商標または登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

インクパックは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

もくじ

マニュアルの見方 4

マークの意味 4

安全に関するマーク 4
一般情報に関する表示 4

掲載イラスト 4

動画マニュアルについて 4

各部の名称 5

正面 5

スライダー 5

内部 6

ロール紙アダプター 6

基本の操作 7

用紙取り扱い時のご注意 7

用紙セット時のご注意 7

ロール紙のセットと取り外し 8

ロール紙アダプターの取り付け方 8
ロール紙のセット方法 9
ロール紙のカット設定 10
ロール紙の取り外し方 12

セットした用紙の設定 13

用紙の交換 14

メンテナンス 15

メンテナンスの種類と実施時期 15

定期メンテナンス 15
消耗品の補充・交換 16
印刷品質低下時のメンテナンス 17

準備するもの 19

作業時のご注意 20

インクの補充 20

インク補充の時期 20
インク補充の手順 21

廃インク処理 27

準備と交換時期 27
廃インクカウンターについて 27
廃インクボトルの交換 27

ノズルの目詰まり解消 28

チェックパターンの印刷方法 29
ヘッドのクリーニング 30

使用済み消耗品の処分 30

メンテナンス用品のご案内 31

インクパック 31

その他 31

お問い合わせ先 32

マニュアルの見方

マークの意味

安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

!重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足説明や参考情報を記載しています。
☞	関連する内容の参照先を示しています。
［プリンター設定］	操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は[ ]で囲んで示します。
【OK】ボタン	操作パネルのボタン名称を示しています。

掲載イラスト

掲載しているイラストが、お使いの機種と若干異なることがございます。ご了承ください。

動画マニュアルについて

基本的なメンテナンス作業を紹介した動画マニュアルをYouTube にアップしています。
動画マニュアルは、『オンラインマニュアル』のトップページで［Epson Video Manuals］をクリックするか、以下の青字の部分をクリックしてご覧いただけます。
動画マニュアル

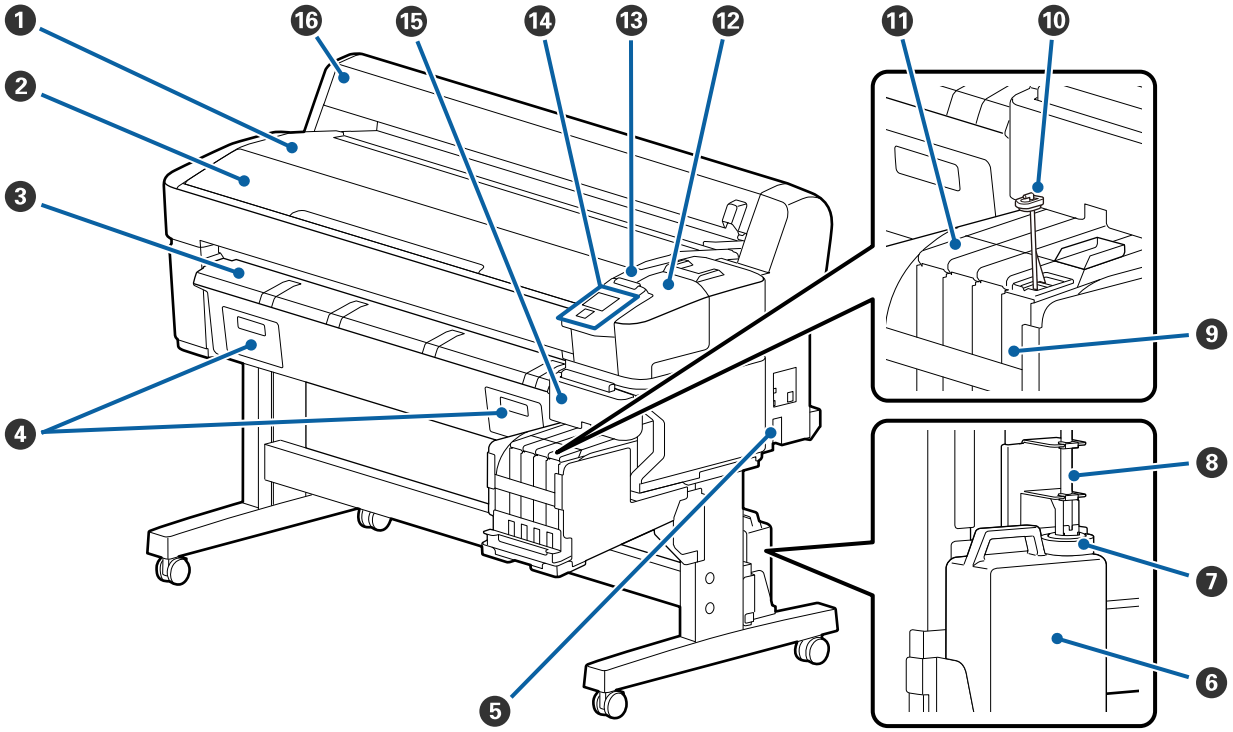
また、以下の手順で YouTube にアクセスしてご覧いただくこともできます。

1. **YouTube（https://youtube.com）へアクセスします。**
2. **画面上部の検索バーで、「Epson Video Manuals (LFP)」 と入力して実行します。**
3. **検索結果の［Epson Video Manuals (LFP)］をクリックします。**
4. **お使いの機種の再生リストからご覧になる動画を選んで再生します。**

なお、動画再生時に字幕が表示されないときは、字幕アイコン（下図の囲み部）をクリックしてください。

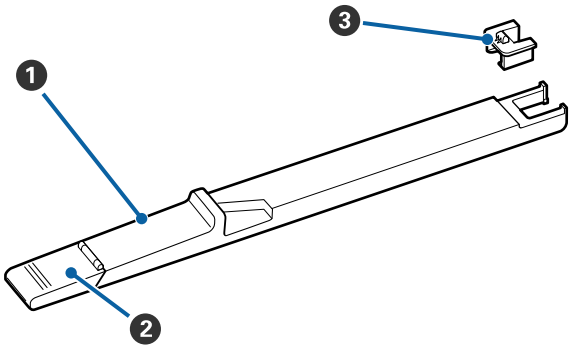
各部の名称

正面



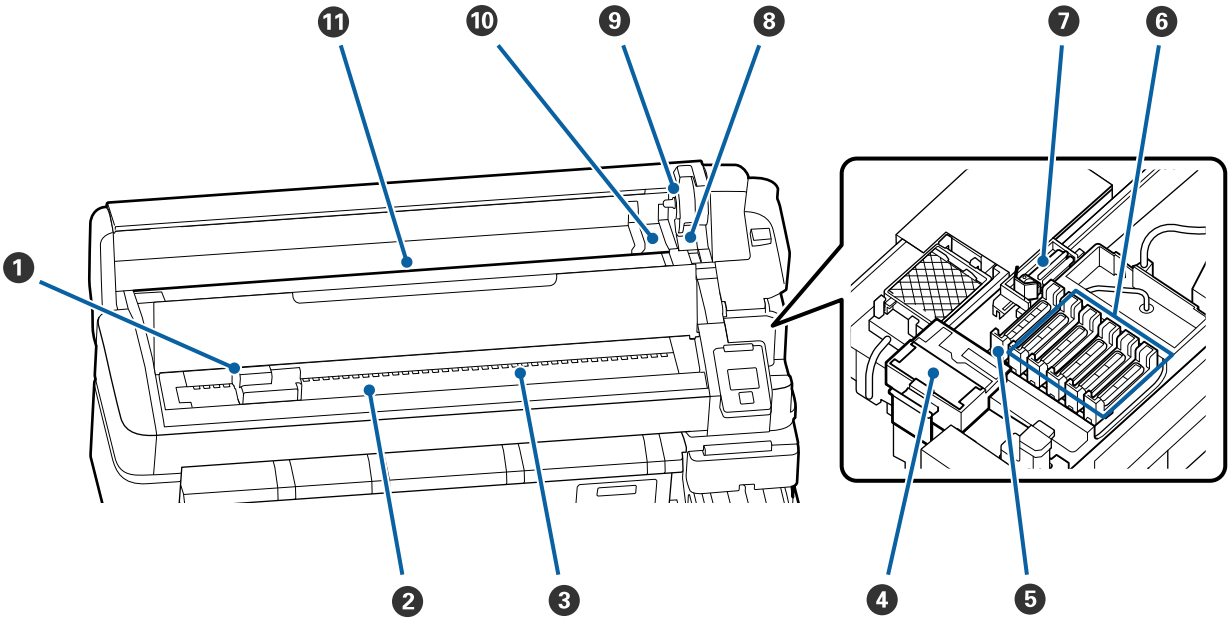
❶ ロール紙仮置き台
❷ プリンターカバー
❸ 排紙ガイド
❹ 本機では使いません
❺ 電源コネクター
❻ 廃インクボトル
❼ ストッパー
❽ 廃インクチューブ
❾ インクタンク
❿ かくはん棒
⓫ スライダー
⓬ メンテナンスカバー
⓭ 大型アラートランプ
⓮ 操作パネル
⓯ サイドカバー
⓰ ロール紙カバー

スライダー



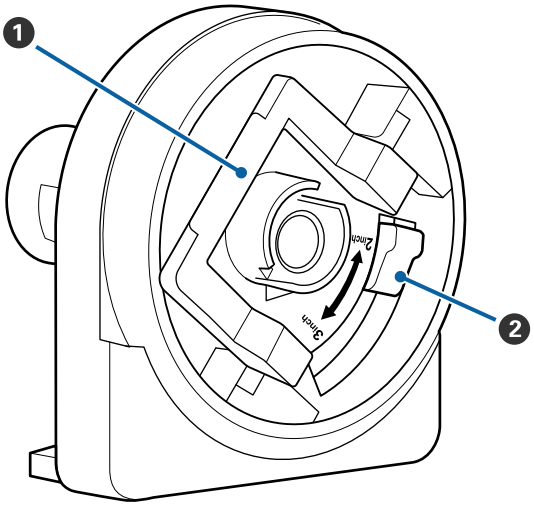
❶ スライダー
❷ 注入口カバー
❸ チップユニット

内部



❶ プリントヘッド
❷ プラテン
❸ ローラー
❹ ワイパークリーナー
❺ 吸引キャップ
❻ 乾燥防止キャップ
❼ ワイパー
❽ ロール紙ロックレバー
❾ アダプターホルダー
❿ アダプターガイド
⓫ 給紙口

ロール紙アダプター



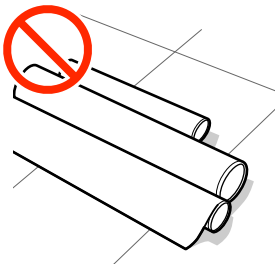
❶ アダプターロックレバー
❷ サイズ切り替えレバー

基本の操作

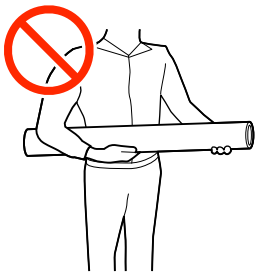
用紙取り扱い時のご注意

以下の点を守らずに用紙を取り扱うと、用紙表面に小さなゴミや毛羽ゴミが付き、ノズルの目詰まりや印刷結果にインクのボタ落ちが生じる原因となります。

むき出しのままで直接用紙を床に置かない。
用紙は、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。



衣類に用紙表面を付けた状態で持ち運ばない。
本機にセットする直前まで、個装袋等に入れて取り扱ってください。



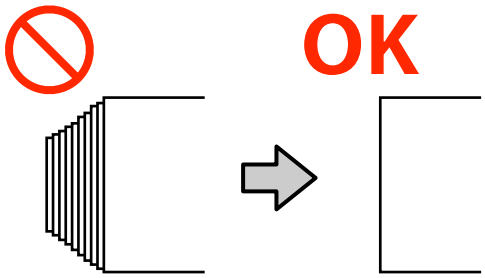
用紙セット時のご注意

⚠注意

用紙の端を手でこすらないでください。用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

用紙は印刷直前にセットする。
用紙を本機にセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付くことがあります。また、用紙が波打ったり、反ったりして用紙送り不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。

左右端が不ぞろいな用紙はセットしない。
ロールの左右の端が不ぞろいな用紙をセットすると、用紙送り不良が生じ印刷中に用紙が蛇行する原因となります。端がそろうように巻き直してから使用するか、問題のないロールを使用してください。



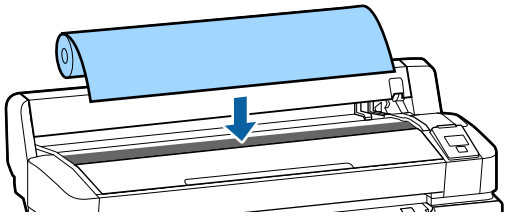
使用できない用紙
折れ、しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのある用紙は使用しないでください。印刷時に用紙の盛り上がりなどがプリントヘッドに接触して、プリントヘッドが破損することがあります。
下図のようにロールの端に折れ、しわ、破れなどがあるときも使用しないでください。

ロール紙のセットと取り外し

ロール紙は、付属のロール紙アダプターに取り付けてから本機にセットします。

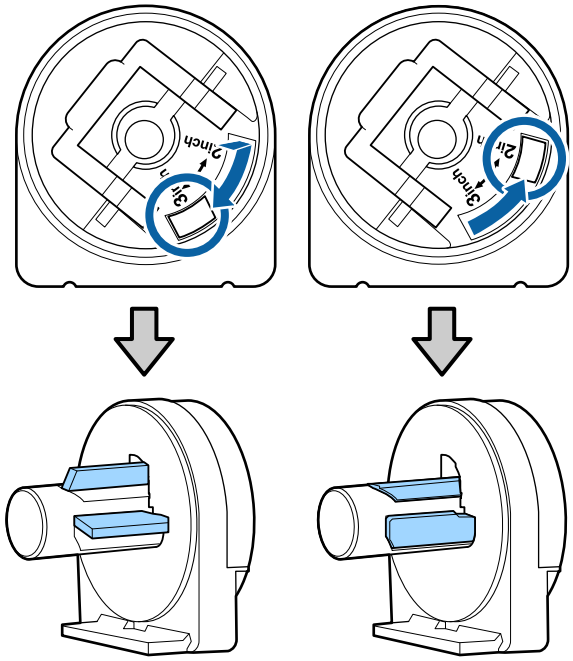
ロール紙アダプターの取り付け方

1 ロール紙を本機上面のロール紙仮置き台に置きます。

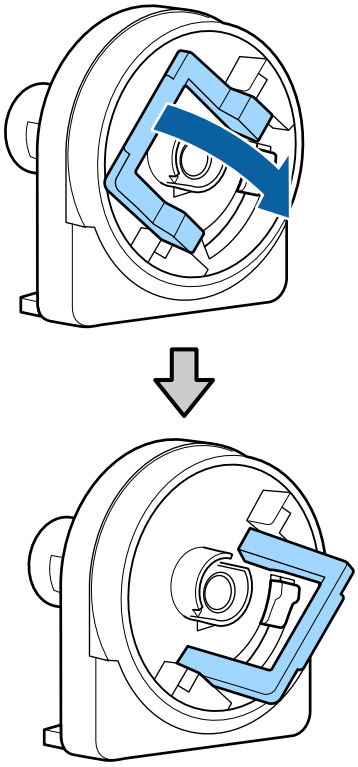


2 付属の 2 つのロール紙アダプターのサイズ切り替えレバーを、セットするロール紙の紙管サイズに応じて切り替えます。

3インチ紙管のとき　**2インチ紙管のとき**

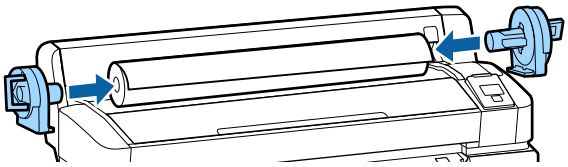


3 ロール紙アダプターは 2 つとも、アダプターロックレバーを起こしてロックを解除します。

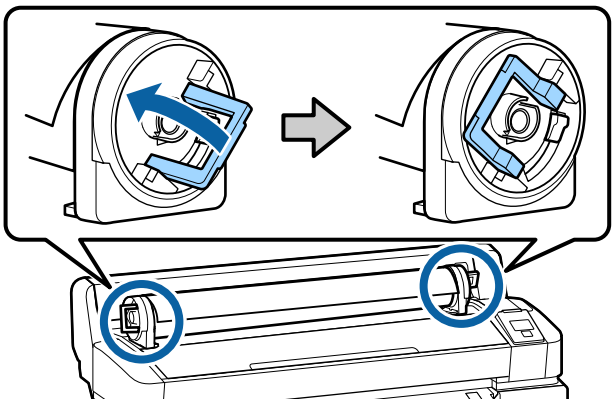


4 ロール紙の両端にロール紙アダプターを取り付けます。

ロール紙とロール紙アダプターが隙間なくぴったりと付くまで押し込みます。

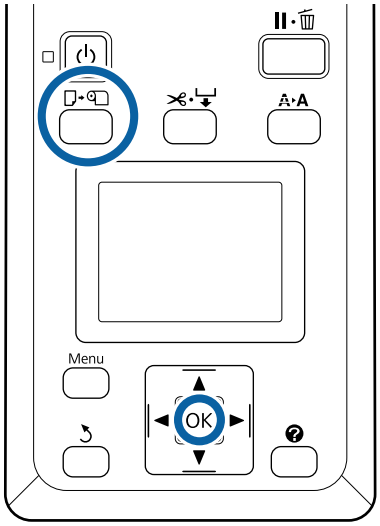


5 アダプターロックレバーを両側とも倒してロックします。

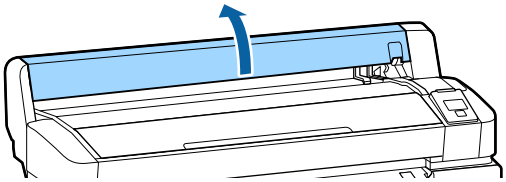


ロール紙のセット方法

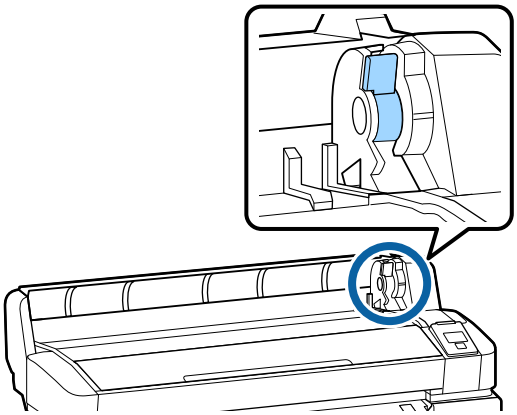
以下の操作で使用するボタン



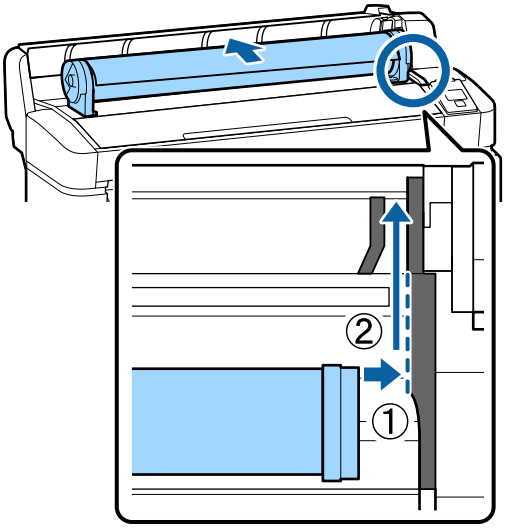
1 画面に［を押して用紙をセットしてください。］と表示されていることを確認して、ロール紙カバーを開けます。



2 アダプターホルダーのロックレバーが上がっていることを確認します。

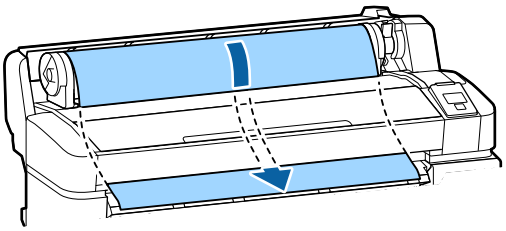


3 アダプターガイドに当たるまでロール紙を右に寄せ、次にアダプターガイドに沿わせて、ゆっくりと奥に滑らせて押し込みます。



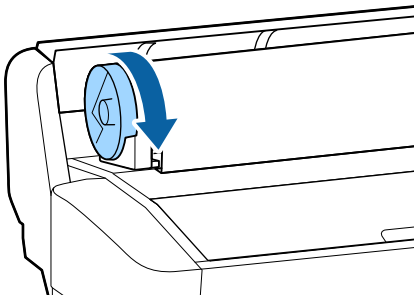
4 操作パネルの【 】ボタンを押します。画面で、［ロール紙］が選択されていることを確認して【OK】ボタンを押します。

5 ロール紙がたるんだり、先端が折れたりしていないことを確認して給紙口に挿入し、本体の外まで引き出します。

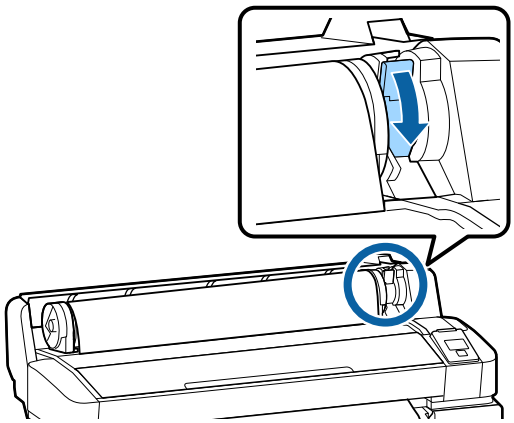


参考

ロール紙の印刷面に触れないようにセットしてください。ロール紙挿入後は、図のようにロール紙アダプターを回してロール紙を送り出してください。

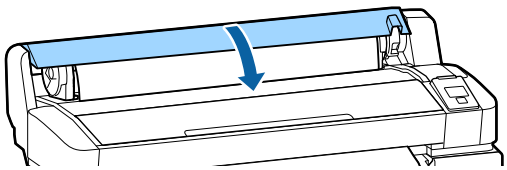


6 **ロール紙ロックレバーを下げて【OK】ボタンを押します。**



ロール紙の先端が水平になっていないときやきれいにカットされていないときは、【OK】ボタンを押してから、5 秒以内に【✂】ボタンを押すとロール紙先端を内蔵カッターでカットできます。

7 **ロール紙カバーを閉めます。**



8 **用紙種類を確認します。**

画面に前回の設定に従って用紙種類とロール紙残量管理の設定状態が表示されます。
表示された設定のまま印刷するときは【▼】/【▲】ボタンを押して［設定変更しない］を選択し、【OK】ボタンを押します。

適切な用紙種類を設定しないと、印刷品質トラブルの原因になります。用紙種類と残量管理設定については以下をご覧ください。

☞「セットした用紙の設定」13 ページ

ロール紙のカット設定

印刷後にロール紙をカットするには、以下のどちらかで行います。

- 自動カット：
  1 ページ印刷するごとに内蔵カッターで自動的にカットします。
- 手動カット：
  【✂】ボタンを押して内蔵カッターを操作してカットします。手動カット時は、切り取り線が印刷されますので、切り取り線を目安に内蔵カッターでカットできます。

参考

- カットするまでに時間が掛かることがあります。
- 用紙の種類によっては内蔵カッターでカットできないものがあります。市販のカッターなどでカットしてください。市販のカッターでカットするときは、以下の手順でカットします。
  【✂】ボタンを押します。【▼】ボタンを押し続けて、用紙のカット位置を排紙ガイドの下まで排出します。市販のカッターやはさみを使ってカットします。

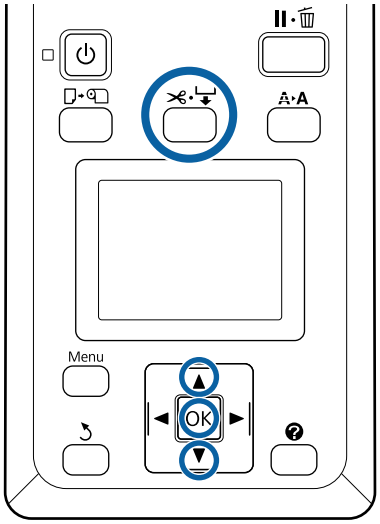
設定方法

操作パネルの【◀】/【▶】ボタンを押して⚙タブを選択し、【OK】または【Menu】ボタンを押します。表示されたセットアップメニューで［プリンター設定］-［ロール紙設定］-［自動カット］-［ON］を選択し【OK】ボタンを押します。［OFF］に設定すると手動カットモードになります。メーカー設定値は［ON］に設定されています。

手動カットの方法

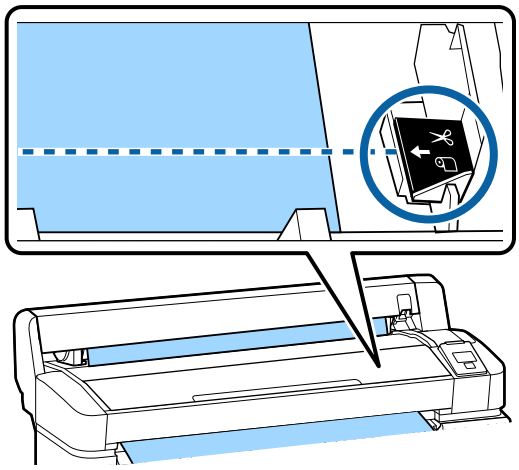
［自動カット］を［OFF］に設定しているときは、印刷後に次の手順で、任意の箇所をカットできます。

以下の操作で使用するボタン



内蔵カッターで手動カット

1 【✂】ボタンを押します。プリンターカバーを閉めた状態で内部を見ながら【▼】ボタンを押して、ロール紙のカットする位置を内部の右側にあるマークの ⬅ に合わせます。



参考

内蔵カッターでカットされる最短の用紙の長さは 60～127mm に設定されており、変更できません。カットしようとする位置が上記の最短カット長より短いときは、カットできる長さまで自動で用紙を送ってからカットするため余白ができます。余白部分は、市販のカッターなどを使ってカットしてください。

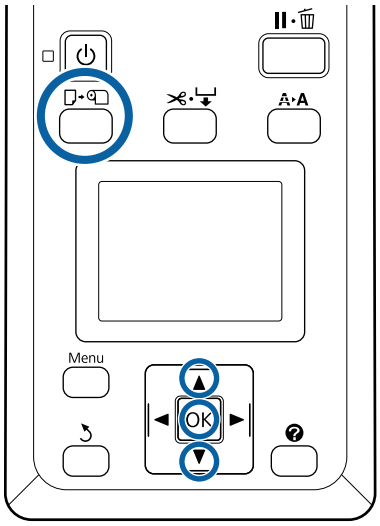
2 【OK】ボタンを押します。

内蔵のカッターでカットされます。

ロール紙の取り外し方

印刷終了後、ロール紙を本機から取り外して保管する手順を説明します。ロール紙をセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付くことがあります。

以下の操作で使用するボタン



1 **印刷可能な状態であることを確認し、【 】ボタンを押します。**

用紙セット/取り外しメニューが表示されます。

2 **【▼】/【▲】ボタンを押して、［用紙取り外し］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

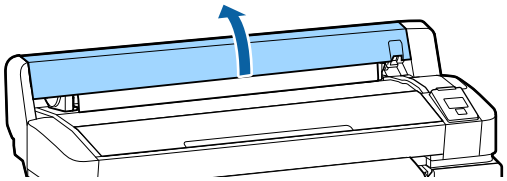
> **参考**
> 正確な残量管理を行うために、タブを表示し、交換するロール紙の残量値を記録しておくことをお勧めします。
> ロール紙残量管理を行うには、ロール紙のセット時にロール紙の長さを入力する必要があります。

3 **セットされているロール紙が自動的に巻き取られます。**

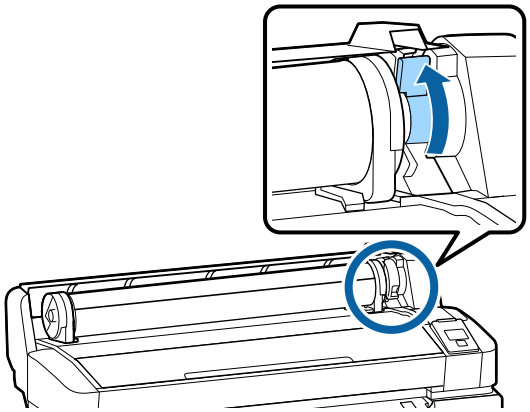
巻き取りが完了すると、画面に［ を押して用紙をセットしてください。］と表示されます。

> **参考**
> ［ロール紙アダプターを回してロール紙先端が給紙口から完全に出るまで巻き戻します］と、画面に表示されたときは、ロール紙カバーを開けて手でロール紙を巻き戻してください。

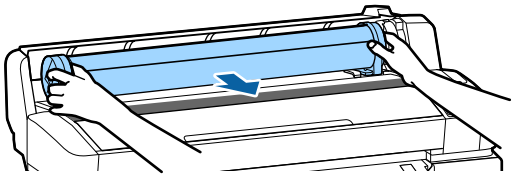
4 **ロール紙カバーを開けます。**



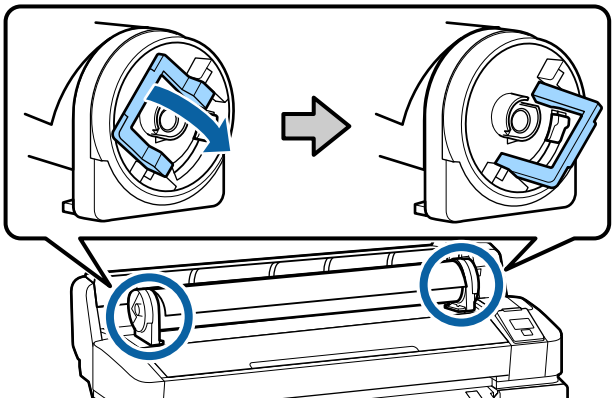
5 **ロール紙ロックレバーを上げます。**



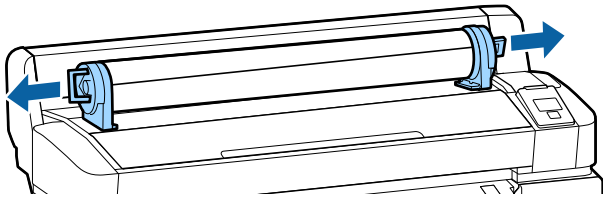
6 **両側のロール紙アダプターを持って、ロール紙をロール紙仮置き台に移します。**



7 **両側のロール紙アダプターのアダプターロックレバーを起こしてロックを解除します。**



8 ロール紙アダプターを取り外します。



ロール紙はきちんと巻き直してから購入時に梱包されていた個装袋に包み、個装箱に入れ保管してください。

9 ロール紙カバーを閉めます。

セットした用紙の設定

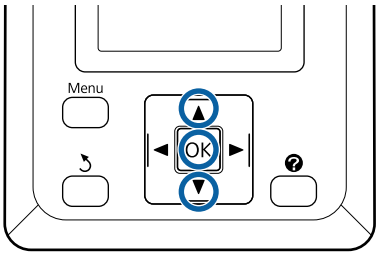
用紙のセットが終了したら、操作パネルの画面表示に従って、セットした用紙に対する次の設定を行います。

1.	**用紙種類の設定** 最適な印刷結果を得るために最も重要な設定です。セットした用紙に合った適切な用紙種類を選択しないと、しわ・こすれなどのトラブルの原因になります。 **残量管理設定** メーカー設定値は［ON］になっています。［OFF］に変更することができます。

⇩

2.	**用紙長さの設定** ここで設定した長さと、印刷で使用した量からおおよその用紙残量値が割り出されます。用紙残量値は■タブの情報表示エリアに表示されます。 残量管理設定が［OFF］になっているときは、この設定画面は表示されません。

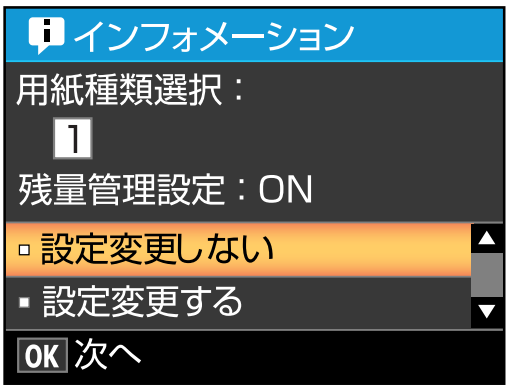
以下の設定で使用するボタン



1 前回の設定に基づき用紙種類と残量管理の設定が表示されます。
セットした用紙の印刷設定が登録されている用紙設定番号になっているか確認します。

まだ用紙設定が済んでいない新規の用紙をセットしたときは、一旦未設定の番号を選択して用紙の給紙完了後に用紙設定を実施してください。

用紙設定の方法 ☞『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）



表示されている内容で印刷するとき

【▼】/【▲】ボタンを押して［設定変更しない］を選択し、【OK】ボタンを押します。

このあとは、手順 6 に進みます。

設定を変更するとき

【▼】/【▲】ボタンを押して［設定変更する］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 変更する項目を選択して【OK】ボタンを押します。

3 設定値を選択して【OK】ボタンを押します。

4 【↺】ボタンを押して手順 **2** の画面に戻ります。

5 設定変更が終了したら、［終了］を選択して【OK】ボタンを押します。

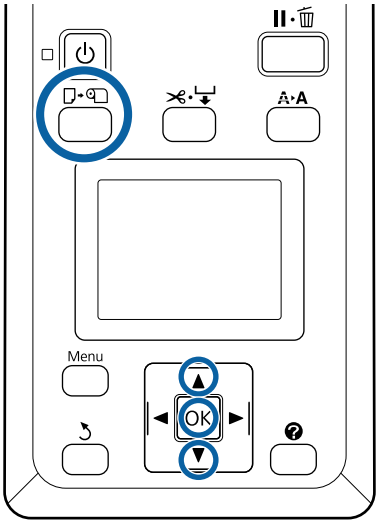
6 ［残量管理設定］を［**ON**］にしているときは、セットしたロール紙の長さを入力する画面が表示されます。
【▼】/【▲】ボタンを押してロール紙の全長を **5.0**〜**999.5m** の範囲で設定し、【OK】ボタンを押します。設定は **0.5m** 単位で行えます。

しばらくして画面に［印刷可能］と表示されたら、印刷ができます。コンピューターから印刷するデータを送信してください。

用紙の交換

用紙を交換する手順を説明します。操作パネルの画面に作業手順が表示されますので、画面の指示に従ってください。

以下の操作で使用するボタン



1 印刷可能な状態であることを確認し、【⎙】ボタンを押します。

用紙セット/取り外しメニューが表示されます。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して、ロール紙を選択し、【OK】ボタンを押します。

> **参考**
> ［ロール紙残量管理］を行うには、ロール紙のセット時にロール紙の長さを入力する必要があります。正確な残量管理を行うために、タブを表示し、交換するロール紙の残量値を記録しておくことをお勧めします。

3 自動的にロール紙が巻き戻ります。

> **参考**
> ［ロール紙アダプターを回してロール紙先端が給紙口から完全に出るまで巻き戻します］と、画面に表示されたときは、手でロール紙を巻き戻してください。

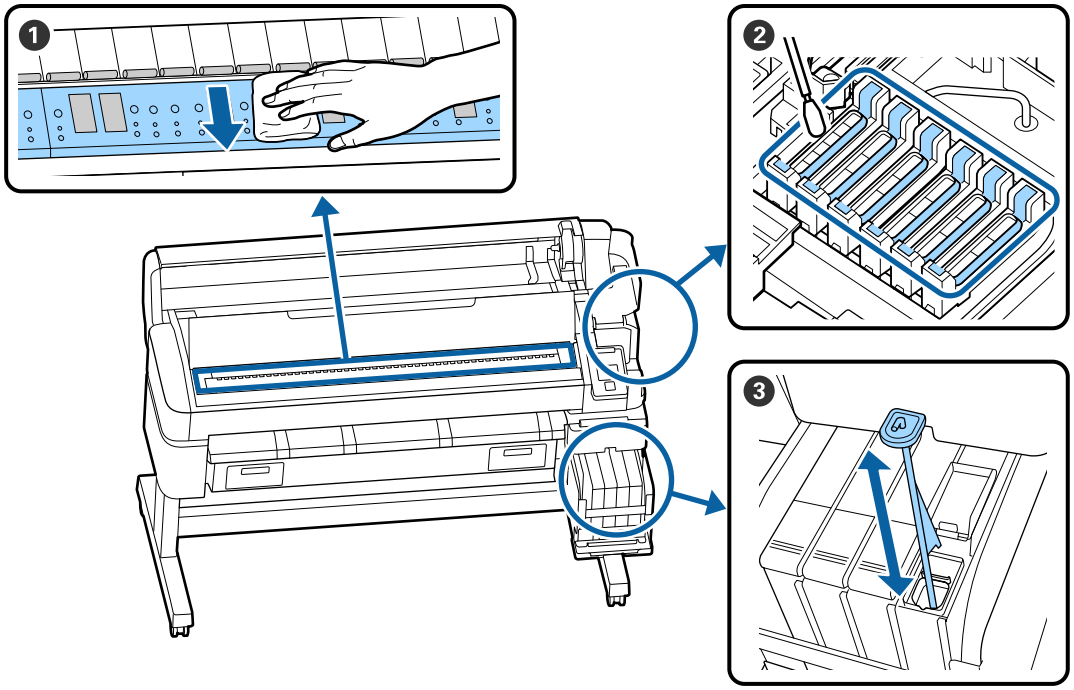
4 画面の指示に従って、次に使うロール紙をセットします。

メンテナンス

メンテナンスの種類と実施時期

定期メンテナンス

清掃を行わずに使い続けると、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ち、印刷結果の色味が変わる原因となります。

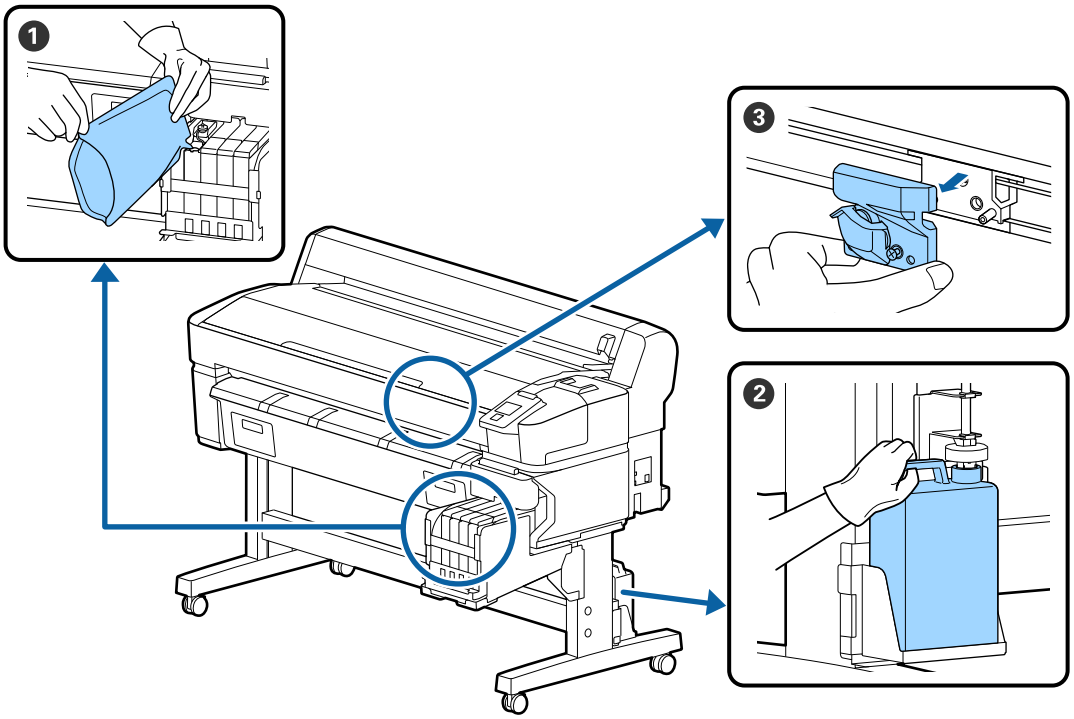


実施時期	清掃箇所
1 週間に 1 回	**❷ キャップの清掃** 手順は YouTube から動画でご覧いただけます。 ☞ キャップの清掃手順
	❸ 高濃度インクのかくはん 高濃度インク使用時は、かくはん棒を 1 秒間で上下に 1 往復する動作を 15 回程度繰り返してインクをかくはんします。
1 カ月に 1 回	**❶ プラテンの清掃** ☞『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）

！重 要

本機は、精密機器です。プリントヘッドのノズル面は毛羽ゴミやホコリがわずかに付着しただけで印刷品質が低下します。
使用環境や使用する用紙によっては、定期清掃の回数を増やしてください。

消耗品の補充・交換



実施時期	交換箇所
インク残量が 50mm 以下のとき	**❶ インクの補充** ☞「インクの補充」20 ページ
操作パネルの画面に交換を促すメッセージが表示されたとき	**❷ 廃インクボトル** ☞「廃インク処理」27 ページ
用紙がきれいに切り取れない/切り口が毛羽立つとき	**❸ カッター** ☞『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）

印刷品質低下時のメンテナンス

横スジが入る・色がおかしいとき

印刷結果の不具合が改善されるまで、以下の順番で対処を実施してください。

1．ヘッドクリーニングの実施

ヘッドクリーニングには、［実行（弱）］［実行（中）］［実行（強）］と 3 段階のレベルがあります。
最初は、［実行（弱）］を実施します。実施後チェックパターンを印刷してかすれや欠けがあるときは［実行（中）］を、それでも解消されないときは［実行（強）］を実施してください。

☞「ノズルの目詰まり解消」28 ページ

⇩ ヘッドクリーニングを３回繰り返しても印刷結果が改善されないとき

2．キャップ清掃の実施

付属のキャップクリーニングキットを使って清掃をします。清掃を行う前に以下をご覧ください。

☞「準備するもの」19 ページ
☞「作業時のご注意」20 ページ

清掃の手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

☞ キャップの清掃手順

⇩ キャップ清掃しても印刷結果が改善されないとき

3．ワイパー・ワイパークリーナーの交換

交換には、本機専用消耗品のワイパーキットが必要です。交換を行う前に以下をご覧ください。

☞「準備するもの」19 ページ
☞「作業時のご注意」20 ページ

交換の手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

☞ ワイパー・ワイパークリーナーの交換方法

それでも印刷品質が改善されないときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

インクのボタ落ちが生じるとき

印刷結果の不具合が改善されるまで、以下の順番で対処を実施してください。

1．ヘッドクリーニングの実施

ヘッドクリーニングには、［実行（弱）］［実行（中）］［実行（強）］と 3 段階のレベルがあります。
最初は、［実行（弱）］を実施します。実施後チェックパターンを印刷してかすれや欠けがあるときは［実行（中）］を、それでも解消されないときは［実行（強）］を実施してください。

☞「ノズルの目詰まり解消」28 ページ

⇩ ヘッドクリーニングを３回繰り返しても印刷結果が改善されないとき

2．プリントヘッドの清掃を実施

清掃には、本機専用消耗品のヘッドクリーンキットが必要です。清掃を行う前に以下をご覧ください。

☞「準備するもの」19 ページ
☞「作業時のご注意」20 ページ

清掃の手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

☞ プリントヘッドの清掃手順

それでも印刷品質が改善されないときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

準備するもの

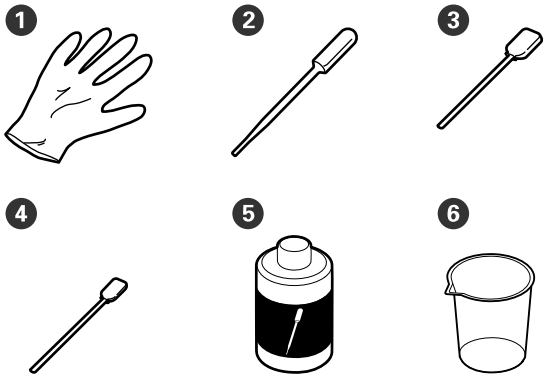
清掃や交換を始める前に、以下のものを準備してください。
付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。
インクパックやメンテナンス用の交換パーツは、本機専用のものをご用意ください。
☞「メンテナンス用品のご案内」31 ページ

手袋が終了したときは、市販のニトリル手袋をご用意ください。

保護メガネ（市販品）
インクやインククリーナーが目に入らないように保護します。

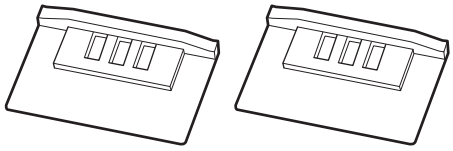
マスク（市販品）
インクやインククリーナーが口や鼻に入らないように保護します。

キャップクリーニングキット（本製品に付属）
キャップの清掃で使用します。
以下の品がセットで入っています。
付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。



❶ 手袋（2 枚）
❷ スポイト（2 個）
❸ クリーニング棒 太（50 本）
❹ クリーニング棒 細（25 本）
❺ キャップクリーニング液（1 個）
❻ カップ（1 個）

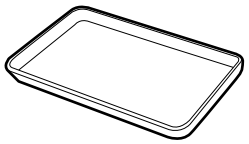
ヘッドクリーンキット（消耗品）
プリントヘッドの清掃で使用します。



ワイパーキット（消耗品）
交換用のワイパーとワイパークリーナーのセットです。

❶ 手袋（2 枚）
❷ ワイパー（2 個）
❸ ワイパークリーナー（2 個）

金属またはプラスチック（PP・PE）製のトレイ（市販品）



清掃用具や取り外した消耗品、付属のカップに移したキャップクリーニング液を置くのに使います。

柔らかい布（市販品）
プラテンの清掃で使用します。毛羽ゴミが出にくく、静電気が発生しにくいものをお使いください。

作業時のご注意

清掃や交換作業は、以下の注意点を守って作業を行ってください。

注意

- メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。
  インク、廃インク、キャップクリーニング液が皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
  - 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
  - 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
  - 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
  - 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあり危険です。
- インクパック、廃インク、キャップクリーニング液は、子どもの手の届かない場所に保管してください。

- 本機から用紙を取り外してから作業を始めてください。
- 清掃の対象箇所以外の部品やベルト類、基板には絶対に触らないでください。本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- クリーニング棒は、付属または消耗品以外のものは使わないでください。毛羽の出るものを使うとプリントヘッドを破損します。
- クリーニング棒は、毎回新品を使用してください。一度使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する原因となります。
- クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が付着し、プリントヘッドが破損することがあります。
- キャップの清掃には、指定のキャップクリーニング液以外は使わないでください。指定以外のものを使うと本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- 作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃がしてください。

インクの補充

インク補充の時期

操作パネルの画面に、［インク残量を確認してください。］とメッセージが表示されたら、速やかに、次の 2 点を対応してください。

- 対象の色の新しいインクパックをお手元に用意する。
- インク残量を確認してインクタンクの底面から 50mm 以下になったら、チップユニットの交換とインクの補充を行う。

1 色でも、［インク残量限界値以下］になると印刷できません。印刷途中で、［インク残量を確認してください。］のメッセージが表示されたときは、印刷を継続しながらチップユニットの交換とインクの補充が行えます。
本機で使用できるインクパック ☞「メンテナンス用品のご案内」31 ページ

重要

本機は、インク残量警告システムを搭載しています。新品のインクパックに付属のチップユニットには、インク 1 パック分の使用可能情報が登録されています。チップユニットを本機に装着すると、この情報が本機に書き込まれます。
インク残量警告システムは、本機に書き込まれたインク 1 パック分の使用可能情報とインクの使用状況からインク残量を推定して、メッセージを表示します。このシステムの正確性を維持するには、インク残量がインクタンクの底面から 50mm 以下になったら、速やかにチップユニットの交換とインクの補充を行う必要があります。

チップユニットのチャージと予約

チップユニットを本機に装着してインク 1 パック分の使用可能情報を書き込むことを「チャージ」と呼びます。チャージ後は、本機に装着したチップユニットを次の新品のインクパックに付属のチップユニットに交換できます。チャージ後に新品のチップユニットに交換することを「予約」と呼びます。予約をしていると、チャージがなくなると同時に予約用のチップユニットから本機に自動でインク 1 パック分の使用可能情報がチャージされます。予約は、推定インク残量のインジケーターの目盛りが 6 ～1 の範囲なら、いつでも行えます。

予約中は、推定インク残量が少なくったときの警告が表示されません。インクがインクタンクの底面から 50mm 以下になっていたら、インク 1 パックを補充してください。チップユニットの交換方法は、次項の手順 2～6 をご覧ください。

予約中かどうかは、チップユニットの状態アイコンで確認できます。

☞『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）

インク補充の手順

インクの種類により、補充方法が異なります。インクの種類にあった補充方法をご覧ください。

作業を行う前に、製品安全データシートと次の注意事項をご確認ください。

製品安全データシートは、弊社のホームページから入手できます。

https://www.epson.jp

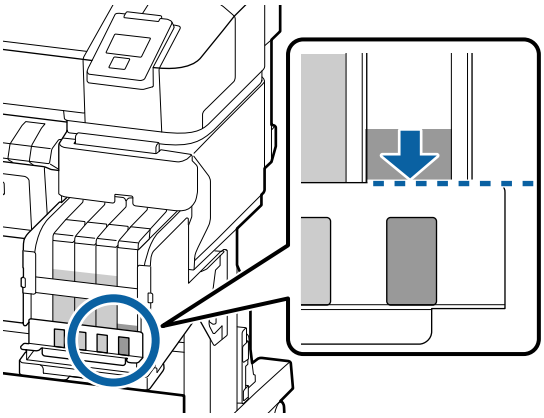
⚠ 注 意

- インクパックや廃インクは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
- メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マスク等を着用してください。
  インクや廃インクが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
  - 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
  - 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
  - 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
  - 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあり危険です。
- インクを補充するときは、以下の点に注意して作業してください。
  - インクパックのそそぎ口はゆっくり切ってください。
    勢いよく切り取ると、インクが飛び散ることがあります。
  - 開封後のインクパックは強く持たないでください。インクが飛び出るおそれがあります。
  - インクをインクタンクに注ぐ際は、インクパックをゆっくり傾けて注いでください。

！重要

- プリンター性能をフルに発揮するために、エプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 指定外のエプソン純正品インクパックを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。
  ☞「インクパック」31 ページ
- インクタンクの上に物などを置いたり、強い衝撃を与えないでください。インクタンクが外れることがあります。インクタンクが外れたときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
  ☞「お問い合わせ先」32 ページ
- 高濃度ブラックとブラックインクを混合して使用しないでください。ブラックインクを切り替えるときは、サービスエンジニアによるインクタンクの交換が必要です。ブラックインクの切り替えは、有償となります。
  お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
  ☞「お問い合わせ先」32 ページ

1 **操作パネルの画面に［インク残量を確認してください。］と表示されたら、インクタンクのインク残量を確認します。**



インク残量が金属板の上端よりも下がっていることを確認します。
操作パネルのチップユニットの状態が予約中のときは手順 7 に進んでください。予約されていないときは手順 2 に進んでください。

インク残量が金属板の上端よりも多いときは

新品のインクパックの全量をインクタンクに補充できません。インク残量が金属板の上端になるまで使い続けてください。

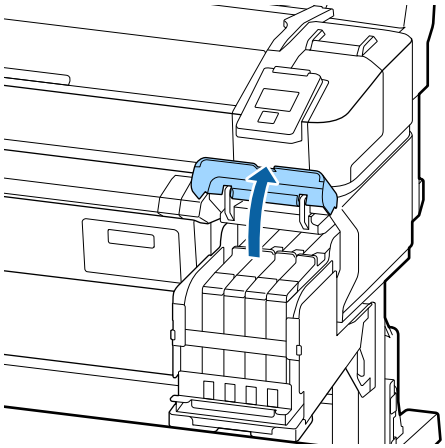
インク残量が穴の上辺よりも下に位置するとき

インク残量が穴の上辺よりも下がると、インク残量が限界値以下となり印刷が停止することがあります。ただちにインクを補充してください。

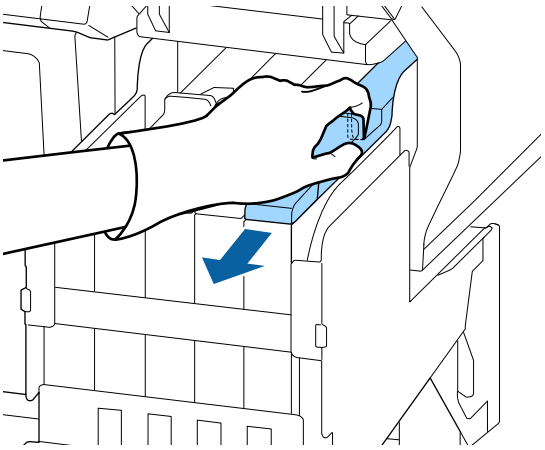
！重要

インク残量が穴の上辺よりも多い状態で、［インク残量限界値以下］と表示されるときは、インクタンクの交換時期です。インクタンクを交換してください。交換修理は、有償となります。
交換修理時には、インクタンク内のインクは廃棄します。これは、インクタンク内のインクに細かい塵やホコリなどの異物が混入されたことが、インクタンク不具合の原因となっているためです。
インクタンク交換に至る期間は、使用環境や使用状況により異なります。
交換修理は、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
☞「お問い合わせ先」32 ページ

2 **サイドカバーを開けます。**



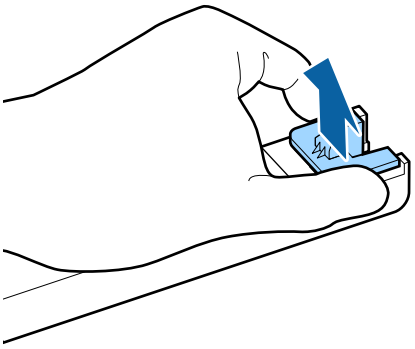
3 スライダー上部のくぼみに指をかけて、まっすぐに引き抜きます。



！重要

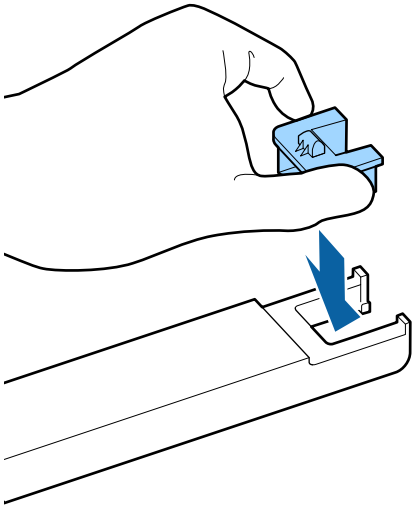
スライダーは傾けないでください。チップユニットが落下すると破損の原因となります。

4 スライダーからチップユニットを取り外します。

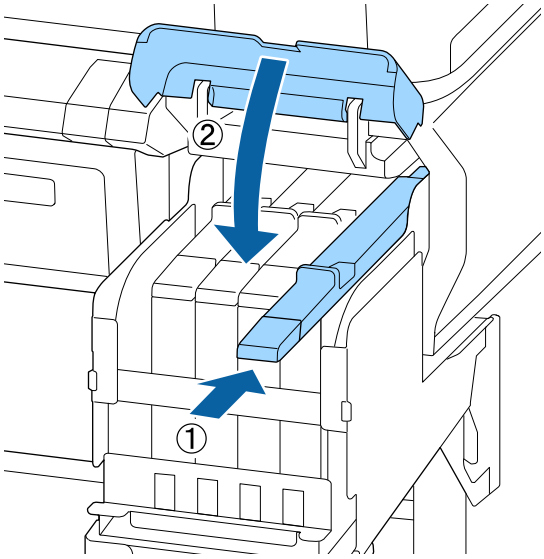


5 新品のインクパックに付属のチップユニットを取り付けます。

取り付け時は、スライダーとチップユニットのラベルの色が一致していることを確認してください。



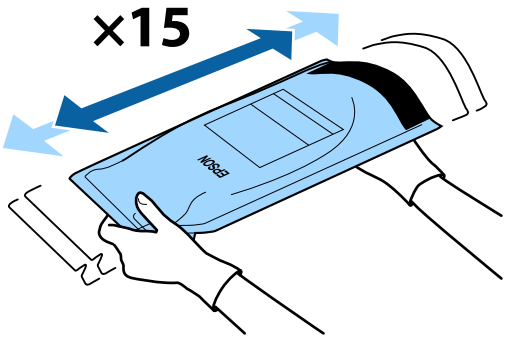
6 スライダーを水平に持って挿入し、サイドカバーを閉めます。



！重要

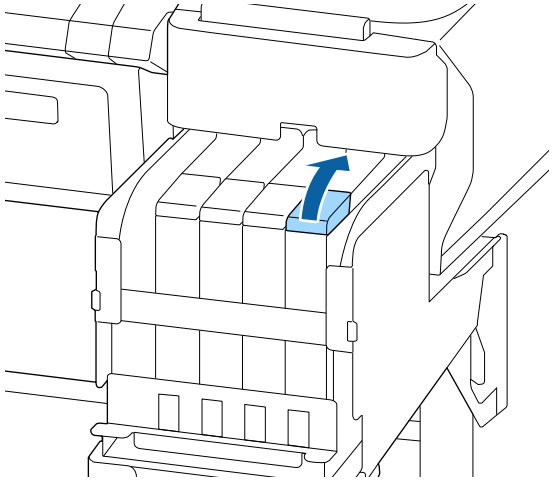
スライダーを勢いよく押し込まないでください。故障の原因となります。

7 新しいインクパックを図のように水平方向に両側約 5cm の振り幅で 5 秒間に 15 回程度よく振ります。



8 操作パネルの画面にエラーや警告が表示されていないことを確認してからスライダーの注入口カバーを開けます。

エラーや警告が表示されたときは、メッセージに従ってエラー/警告の対応後に以降の作業に進んでください。



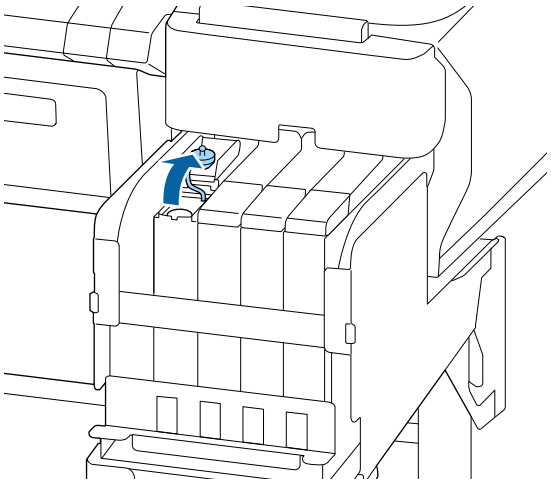
9 インクタンクの注入口キャップを外します。

補充するインクの種類によって注入口キャップの外し方が異なります。

！重要

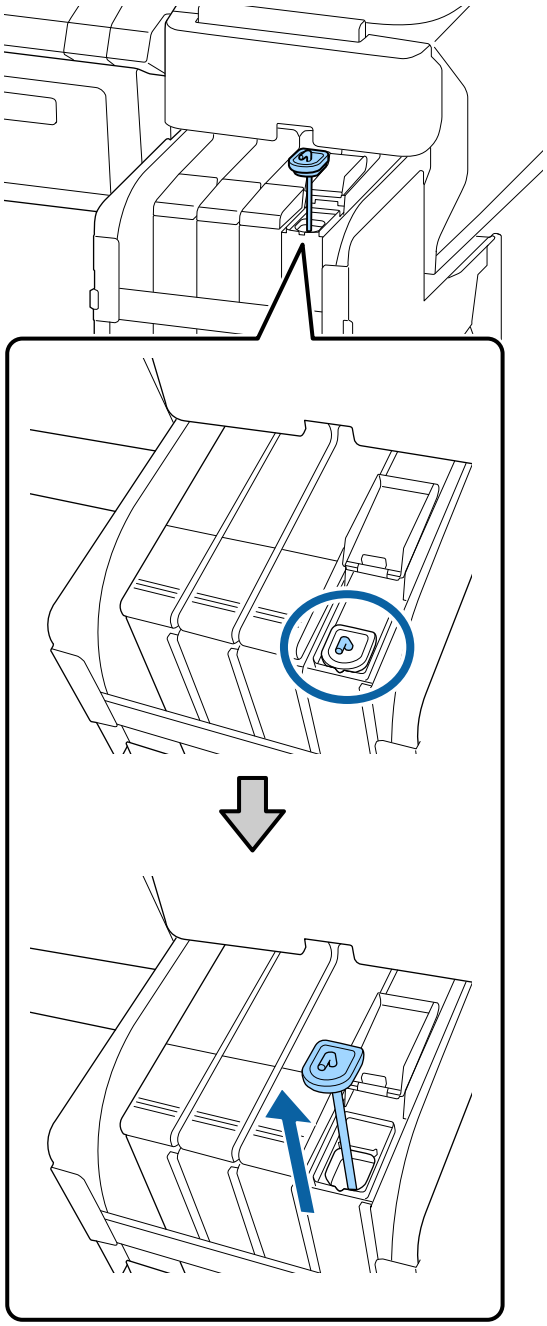
注入口キャップをゆっくり外してください。勢いよくキャップを外すとインクが飛び散ることがあります。

高濃度ブラックインク以外

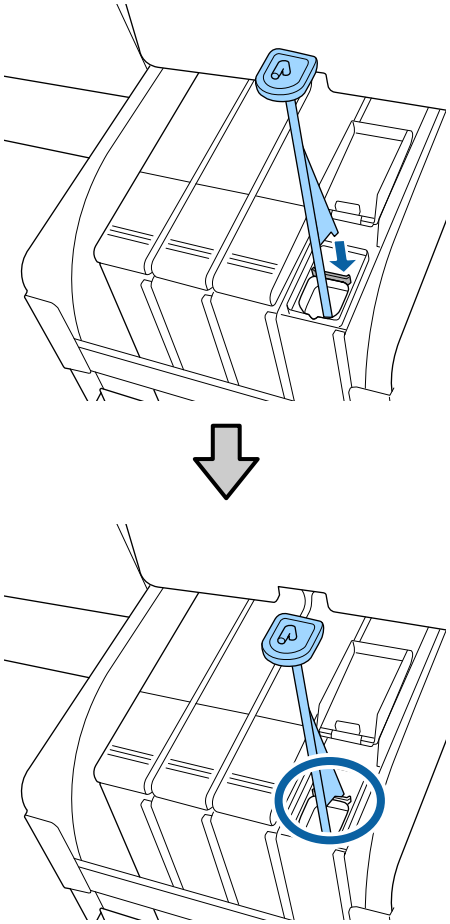


高濃度ブラックインク

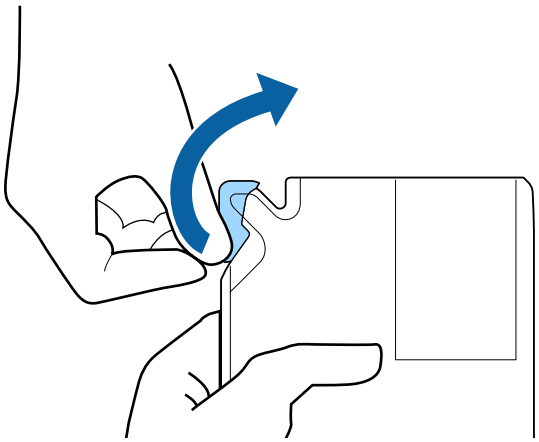
① 図の囲み部を持って注入口キャップを外します。他の部分を持って注入口キャップを外すと、インクが付着します。



② かくはん棒をインクタンクに引っかけます。

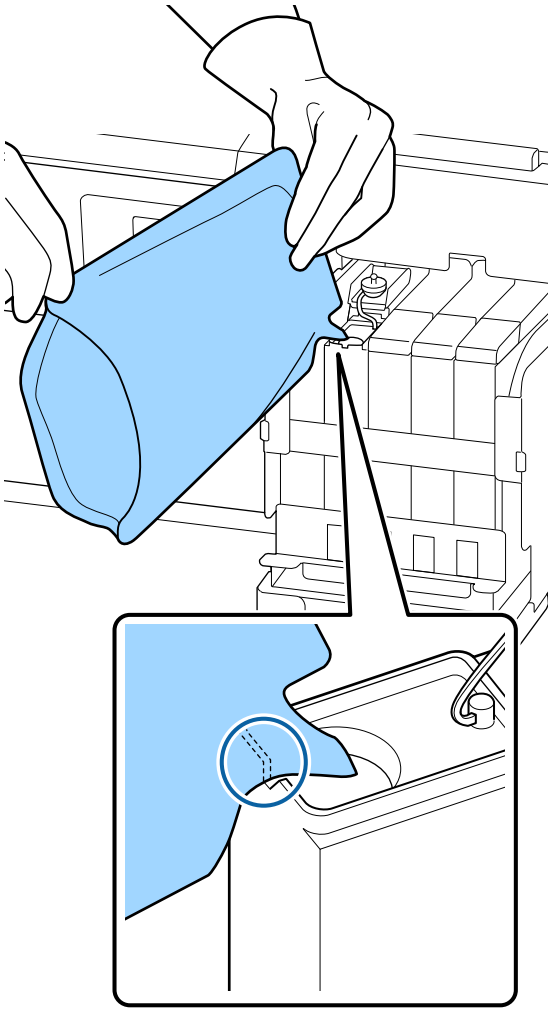


10 インクパックのそそぎ口を切り取ります。



11 インクタンクにインクパックのインクを補充します。

インクパックのそそぎ口をインクタンク注入口の溝に当ててゆっくりと傾けてください。



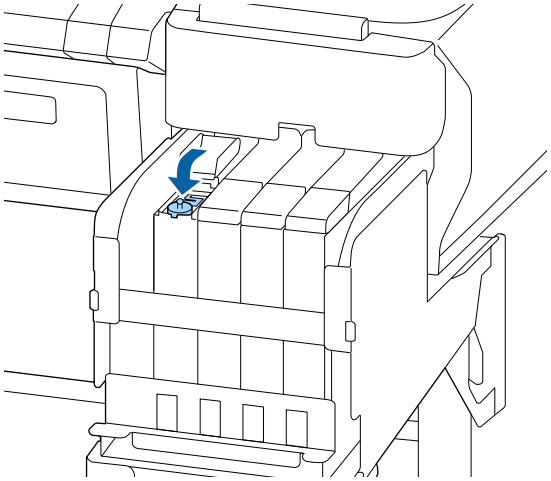
！重要

インクパックのインクは残さず、一度で注ぎ切ってください。
インクパックのインクは、複数のインクタンクに注ぎ分けないでください。
インク残量警告システムのメッセージが適切に表示されない原因となります。

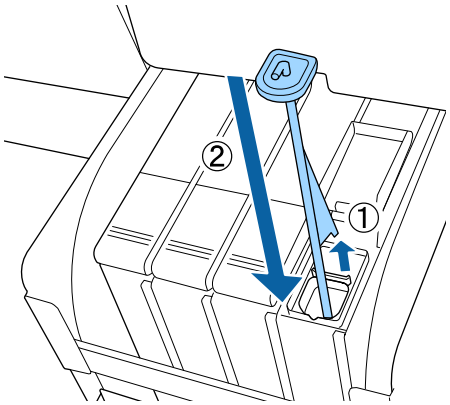
12 インクタンクに注入口キャップを付けます。

インクの種類によって注入口キャップの付け方が異なります。

高濃度ブラックインク以外



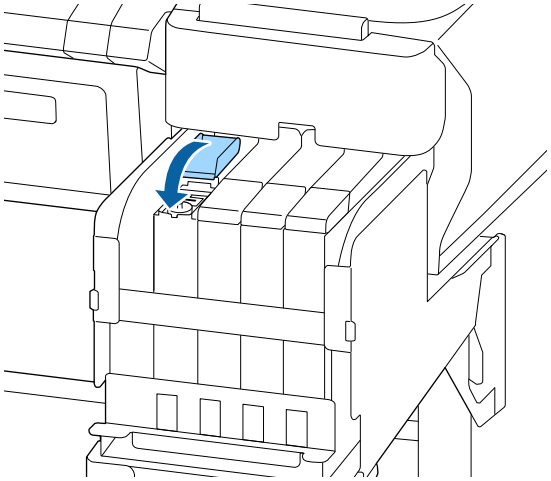
高濃度ブラックインク



！重要

注入口キャップは浮かないように確実に押し込んでください。スライダーを引き抜く際に注入口キャップと接触すると破損することがあります。

13 スライダーの注入口カバーを閉めます。



廃インク処理

準備と交換時期

［空の廃インクボトルを準備してください。］と表示されたとき

直ちに新しい廃インクボトルを手元に用意してください。夜間稼動などのため、この段階で廃インクボトルを交換するときは、設定メニューから［廃インクボトル交換］を実施して交換作業を行ってください。［廃インクボトル交換］を実施せずに交換すると、廃インクカウンターが正しく働かなくなります。

設定メニューの詳細　☞『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）

廃インクカウンター　☞「廃インクカウンターについて」27 ページ

> **！重 要**
>
> 印刷中やヘッドクリーニング実行中は、画面に指示がない限り、絶対に廃インクボトルを取り外さないでください。廃インクが漏れることがあります。

［空の廃インクボトルと交換して、OK を押してください。］と表示されたとき

直ちに廃インクボトルを新品と交換してください。

交換方法　☞「廃インクボトルの交換」27 ページ

廃インクカウンターについて

本機は、廃インクカウンターで廃インクの量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。［空の廃インクボトルと交換して、OK を押してください。］のメッセージに従って新しい廃インクボトルに交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。

このメッセージが表示される前に交換するときは、設定メニューの［廃インクボトル交換］を実行してください。

☞『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）

> **！重 要**
>
> メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換したときは、必ず廃インクカウンターをクリアしてください。次回から、廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできなくなります。

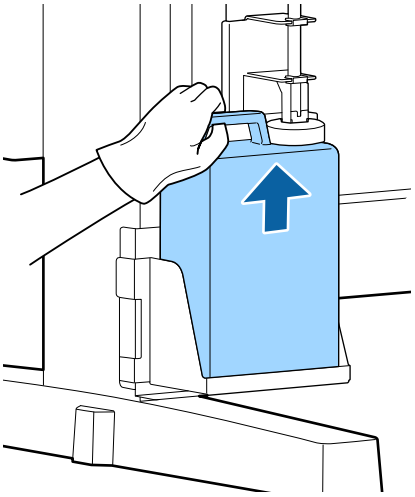
廃インクボトルの交換

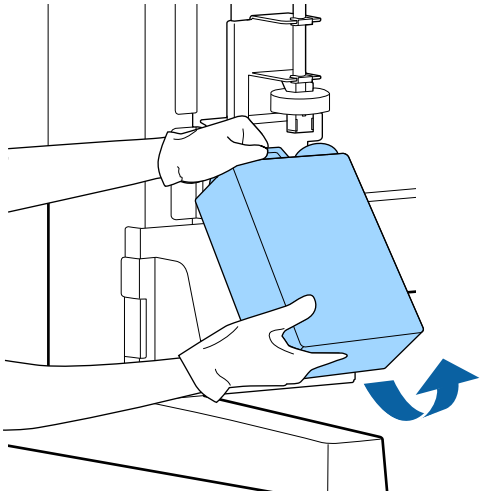
以降の手順に従って、交換作業を行います。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞「作業時のご注意」20 ページ

1 **廃インクボトルを廃インクボトルホルダーから取り出します。**





ストッパーの裏側が汚れているときは、拭いてください。

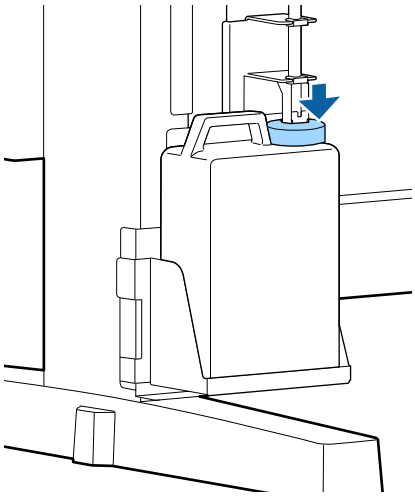
2 **新しい廃インクボトルの口を廃インクチューブに差し込んでから、廃インクボトルホルダーに設置します。**

使用後の廃インクボトルはしっかりふたをしてください。

！重要

- 必ず、廃インクチューブがボトルの口に差し込まれていることを確認してください。廃インクチューブがボトルから外れていると廃インクが周囲にこぼれます。
- 廃インクボトルのふたは、廃インクを廃棄するときに必要となります。捨てずに保管しておいてください。

3 ストッパーを下げます。



！重要

ストッパーがボトルの口に密着していることを確認してください。隙間があると、廃インクが飛び散り、周囲が汚れることがあります。

4 【OK】ボタンを押します。

5 再度、新しい廃インクボトルが正しく装着されていることを確認します。【OK】ボタンを押すと、廃インクカウンターがクリアされます。

☞「使用済み消耗品の処分」30 ページ

ノズルの目詰まり解消

ノズルの目詰まりが解消されるまで、以下の順番で確認と対処を実施してください。

ノズルの目詰まりチェック
チェックパターンを印刷して以下の内容を確認します。
- ノズルの目詰まりがあるかどうか
- どのノズル列が目詰まりしているのか

⇩ 目詰まりがあるとき

ヘッドクリーニング（弱）を実施
ヘッドクリーニングには、弱・中・強の 3 段階があります。［実行（弱）］を実施してチェックパターンを印刷し、ノズルの目詰まりが解消されたか確認します。

⇩ 目詰まりが解消されないとき

ヘッドクリーニング（中）を実施
［実行（中）］を実施してチェックパターンを印刷し、ノズルの目詰まりが解消されたか確認します。

⇩ 目詰まりが解消されないとき

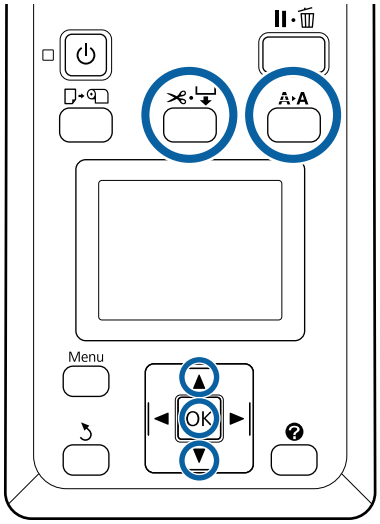
ヘッドクリーニング（強）を実施
［実行（強）］を実施してチェックパターンを印刷し、ノズルの目詰まりが解消されたか確認します。

⇩ 目詰まりが解消されないとき

本機内部の清掃が必要です。
印刷結果の状態に応じて以下を実施します。
横スジが入る・色がおかしいとき
清掃の手順は YouTube から動画でご覧いただけます。
☞ キャップの清掃手順
インクのボタ落ちが生じるとき
清掃の手順は YouTube から動画でご覧いただけます。
☞ プリントヘッドの清掃手順

チェックパターンの印刷方法

以下の操作で使用するボタン



1 **印刷可能な状態であることを確認します。【A▸A】ボタンを押します。**

メンテナンスメニューが表示されます。

2 **［ノズルチェック］が選択されていることを確認し、【OK】ボタンを押します。**

確認のメッセージが表示されます。

3 **【OK】ボタンを押すとチェックパターンの印刷が始まります。**

4 **印刷されたチェックパターンを確認します。**

オプションの巻き取りユニットに用紙を取り付けているときは、チェックパターン印刷後自動カットされません。チェックパターンが見えにくいと感じるときはきは、以下の手順で用紙を送り出して確認できます。

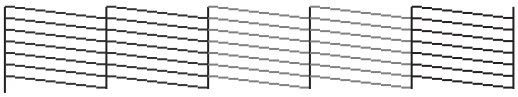
① 【⋊·⊔】ボタンを押します。

② 【▼】ボタンを押してチェックパターンが見えやすい位置まで用紙を送り出します。

③ チェックパターンを確認後、【▲】ボタンを押すと用紙を巻き戻せます。

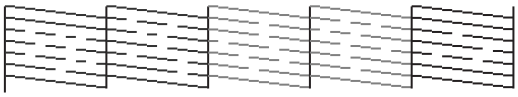
④ 【↺】ボタンを押すとメニューに戻ります。

目詰まりしていないときの例



ノズルチェックパターンが欠けていません。
［終了］を選択して【OK】ボタンを押すと、設定メニューが終了します。

目詰まりしているときの例



チェックパターンが欠けているときは、ヘッドクリーニングを行ってください。

☞「ヘッドのクリーニング」30 ページ

！重 要

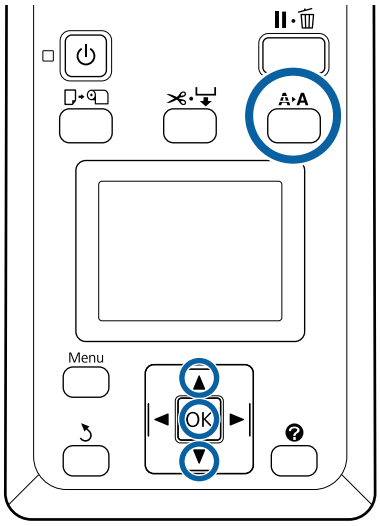
必ず全色のノズルの目詰まりを解消してから使用を再開してください。再開後の印刷で使用しない色でも目詰まりしたまま使い続けると、目詰まりが解消できなくなります。

ヘッドのクリーニング

チェックパターンにかすれや欠けがあるときは、ヘッドクリーニングを行うとノズルの目詰まりを解決できることがあります。
印刷結果にかすれや色の問題がない限り、ヘッドクリーニングを行う必要はありません。

ヘッドクリーニングの手順

以下の操作で使用するボタン



1 **印刷可能な状態であることを確認します。【A▸A】ボタンを押します。**

メンテナンスメニューが表示されます。

2 **【▼】/【▲】ボタンを押して［ヘッドクリーニング］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **ヘッドクリーニングするノズル列の指定方法を選択します。**

［全列クリーニング］
印刷されたチェックパターンを確認したとき、全てのパターンにかすれや欠けがあるときに選択します。［全列クリーニング］を選択したときは、手順 5 に進みます。

［クリーニングする列を選択］
印刷されたチェックパターンを確認したとき、特定の番号（ノズル列）のパターンにかすれや欠けがあるときに選択します。ノズル列は複数選択できます。

4 **ヘッドクリーニングするノズル列を選択します。**

- 【▼】/【▲】ボタンを押してチェックパターンで、かすれや欠けがあるパターンの番号が含まれているノズル列を選択し、【OK】ボタンを押します。
- ヘッドクリーニングするノズル列を全て選んだら、［選択を決定し次へ］を選択して【OK】ボタンを押します。

5 **クリーニングのレベルを選択し、【OK】ボタンを押します。**

最初は、［実行（弱）］を選択してください。

6 **ヘッドクリーニングが行われます。**

ヘッドクリーニング終了後、チェックパターンを印刷して目詰まりが解消されたことを確認します。

使用済み消耗品の処分

使用済みの以下のインク付着物は、産業廃棄物です。

- クリーニング棒
- ワイパー
- ワイパークリーナー
- キャップクリーニング液
- インクパック
- 廃インク
- 廃インクボトル
- ヘッドクリーンキット
- 印刷後の用紙

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。委託時には、製品安全データシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。
製品安全データシートは、エプソンのホームページ（https://www.epson.jp）からダウンロードできます。

メンテナンス用品のご案内

最新の情報は、エプソンのホームページ（https://www.epson.jp）をご覧ください。（2019 年 2 月現在）

インクパック

！重 要

指定外のインクパックのインクを混入すると、故障の原因となります。
指定外のエプソン純正品インクパックを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

商品名		型番
インクパック	高濃度ブラック	SC20HDKP
	ブラック	SC20BKP
	シアン	SC20CP
	マゼンタ	SC20MP
	イエロー	SC20YP

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品の指定されたインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

その他

商品名	型番	備考
廃インクボトル	SC2WIB	製品付属の廃インクボトルと同等品です。
ヘッドクリーンキット	SC5HCK	プリントヘッドの清掃に使用します。
キャップクリーニングキット	SC5CCK	製品付属のキャップクリーンキットと同等品です。
ワイパーキット	SC20WK	交換用のワイパーとワイパークリーナーです。
ペーパーカッター替え刃	SCSPB2	交換用のカッターです。

お問い合わせ先

●エプソンのウェブサイト　epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先（エプソンソリューションコールセンター）

050-3155-8690

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8431へお問い合わせください。

●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8380

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8413へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

製品取扱販売店でお買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのウェブサイト（epson.jp/support）にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8801　東京都新宿区新宿四丁目1番6号　JR新宿ミライナタワー 29階
セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和三丁目3番5号

商業（捺染） 2018.04